

グリーフサポートせたがや 2014年度活動報告



活動期間

2014年7月1日～

2015年6月30日

2014年度は「グリーフサポートせたがや(グリサポせたがや)」にとって記念すべき一年となりました。前年度に開設した「サポコハウス」で、死別喪失体験をもつ子どもや大人を対象としたグリーフサポートプログラムを始めることができました。また10月には「世田谷区グリーフケアモデル事業」の事業実施団体に選定され、個別相談や連続講座、情報発信に力を注ぐことができました。サポートプログラム・個別相談・連続講座の3つの接点で、グリーフを抱える人とグリサポせたがやが出会える場が生まれました。

サポートプログラム

子どもプログラム(2014年7月19日開始)、大人プログラム(2014年7月22日開始)、パートナー死別ピアサポートプログラム(2014年11月30日開始)の参加者数は、子どものべ23名、大人のべ74名、参加したファシリテータは、のべ198名でした。



ファシリテータ養成講座

2014年度は4回のファシリテータ養成講座を開催し、参加者は38名(うちファシリテータ登録は21名)でした。サポートプログラムのファシリテータおよび講座の保育スタッフなど大切な役割を担っています。



個別相談

2014年10月から始まった個別相談の来談者は、のべ55名(女41人、男14人)でした。2014年12月から世田谷区グリーフケアモデル事業補助金により、初回は無料で相談を受けていただくことができました。

講座・ワークショップなど

全4回にわたる連続講座「わたしも大事 あなたも大事」ほか、グリーンやグリーンサポートにかんするワークショップや講座を開催しました。全参加者はおよそ500名。講座にはすべて手話通訳とノートテイクをつけ、情報保障に配慮しました。連続講座は世田谷区グリーンケアモデル事業の補助金により保育サービスの提供が可能となりました。また、講座に参加できない人にも情報を届けたいと、昨年度の講座記録集『哀しみに寄りそいともに生きる』を発行しました。そのほか他団体のイベントの協力・共催団体としてネットワークを広げることができました。



オレゴン州ダギーセンター所長のドナさん



ハワイKids Hurt Too Hawaii シンシアさん、伊藤ヒロさん

サポコハウスへの訪問者・見学者

グリサポせたがやに興味をお持ちいただき、サポコハウスに足を運んでくださる人もたくさんいらっしゃいます。北海道や九州から子どものグリーンサポートをしている仲間たち、介護者支援NGOや傾聴ボランティアの方々、論文執筆中の大学生など多岐にわたります。

2014年度はオレゴン州ダギーセンター所長のドナさん、ハワイKids Hurt Too Hawaiiのシンシアさんや伊藤ヒロさんもサポコハウスに遊びにきてくださいました。これからも、グリーンサポートの場づくりをともに作り、学び合える個人・団体とつながっていきたくと思っています。

「素晴らしいロゴをひたすら紹介していくウェブサイト『ログストック』」で、グリサポせたがやのロゴが紹介されました！
<http://logostock.jp/sapoko/>



2014年度決算報告

2014年度収支報告(2014年7月1日～2015年6月30日)

収入		支出	
会費	355,000	グリーンに向き合うスペース運営事業	6,171,157
グリーンに向き合うスペース運営事業	862,600	グリーンに関わる普及・啓発事業	3,058,238
グリーンに関わる普及・啓発事業	761,700	管理費	653,678
助成金・補助金	7,132,000		
寄付金	3,722,408		
利息	1,057		
収入合計	12,834,765	支出合計	9,883,073

※グリーンに向き合うスペース運営事業とは、個別相談、ファシリテータ養成講座にかかる事業。グリーンに関わる普及・啓発事業とは、講座、ワークショップにかかる事業。